

年間聖句 「すべての人を一つにしてください。」(ヨハネによる福音書17章21節)

ワイズメンズクラブ国際協会 第21回西日本区大会

2018年6月8日～10日に、ワイズメンズクラブ国際協会 第21回西日本区大会が開催されました。今年度は、六甲部8クラブが大会ホストを担い、海外からはカナダ・ハワイ・タイ・台湾のクラブ、東日本区から13のクラブ、西日本区から84のクラブが参加し、総勢約750名がANAクラウンプラザホテル神戸に集いました。

「すこやか、しあわせ、ワイズとともに」という大会テーマは、2022年にワイズメンズクラブ発足100周年を迎えるにあたって、まずは個人の心身の健康づくり→各クラブの健康→社会に貢献するワイズであるためにという想いが込められています。大会中に行われた2017年度の取り組みに関する報告の中では、ワイズメンズクラブとYMCAとの協働を続けて行く為に、どのようにお互いが理解をしようべきかが語られました。YMCAが取り組むブランディングについても触れられ、常に理想を持ち、現状に満足するのではなく更に「よくなっていく」ことを目指してチャレンジするワイズメンズクラブでありたいという願いが確認されました。また、各クラブの連絡主事が集められた連絡主事の会では、2017年に発足された「ワイズ・YMCAパートナーシップ検討委員会」からの報告や意見の交換がなされ、災害対策・ユース育成をテーマとして、ワイズメンズクラブとYMCAとの協働を更に深めていくことが確認されました。



六甲部8クラブのワイズメンが一つとなって、他クラブのみなさんを迎えるにあたり、準備に膨大な時間と労力を費やされたことと思いますが、多くの笑顔と感謝の言葉「ありがとう」を聞くことができた大会となりました。

ライフ&シニアハウス神戸北野との協働



神戸YMCA三宮会館開設から1年が経過しました。協働事業ライフ&シニアハウス神戸北野の皆さんとは、夏祭りや各種季節行事で様々な交流が広がっています。ハウスにお住まいで、神戸YMCAの様々な活動にご参加されている櫻井英子さんにインタビューさせていただきました。

『ハウスを選んだ理由は、何よりYMCAという信用度がベースにあったこと、またバス移動によりファミリーウエルネスセンターで活動が出来ることでした。』

ウエルネス活動での一番の驚きは、何より会員の皆さんの人懐っこさ、YMCA愛、会員同士の繋がりが強いことです。母校であれば当然ですが、スポーツジムでは、ここまで愛着をもった会員同士の輪、またその繋がりの楽しさを感じることはめずらしいと思いますが、これが魅力です。友だちになった会員の方々を目標に週3回、運動を楽しんでいます。

日本語サポーターのボランティアも毎週留学生との会話を通して、それぞれの国の背景、文化などを知ることが出来、自身の勉強・視野が広がる機会でもあります。英会話を学び始めた頃、私自身も外国の方々とのコミュニケーションの中で会話が上達したことを感謝し、それをYMCAの活動を通してお返しが出来ればうれしい限りです。』

櫻井さんのお話をうかがうと、何十年も前から、このハウスで生活し、ウエルネス活動をされてきたのかなど錯覚するくらい、現在の時間を謳歌、ウエルネスライフを実践されていると感じます。

『みつかる、つながる、よくなっていく』、この輪が協働の中でも広がっています。

ライフ&シニアハウス神戸北野のご見学、お問い合わせは随時受付中(078-272-1855)

ボランティア研修会・リーダー委嘱式



5月13日(日)にボランティア研修会・リーダー委嘱式を三宮会館で実施しました。「成長するリーダーシップ」をテーマに、リーダーシップの基本的な理解と評価方法を学び、リーダーたちは普段の活動のねらい設定やその評価について新たな方向性を感じる機会となりました。研修後は礼拝と委嘱式を実施し、各リーダー

代表者に神戸YMCAから委嘱状が手渡され、1年間の活動が委嘱されました。最後になりましたが、毎年ワイズメンズクラブのみならずボランティアリーダーや活動の支援をいただいております、心より感謝申し上げます。



シリーズ こくさいのまど 58

「世界一大きな授業」



現在、6100万人の子どもが小学校に通えなく、7億5000万人の大人が読み書きができないことをご存知でしょうか。2015年9月、国連総会では「持続可能な開発目標」(SDGs=Sustainable

Development Goals) を採択し、2030年までにすべての子どもが質の高い教育を受け、大人の識字率も改善することを目標として掲げました。

「世界一大きな授業」とは、世界の現状と向き合い、教育の大切さについて同じ時期に同じ教材を用いて学ぶ地球規模のイベントです。

神戸YMCAでは、高等学院と専門学校ホテル学科の学生を対象に世界一大きな授業を実施しました。教育を受ける上で「あってもいい違い」と「あってはいけない違い」について話し合ったり、文字が読めない体験をしたりと教育の大切さについて考え、学ぶ時間をもちました。

私たちの生活の中で「仕方がない」と思われがちな問題はたくさんありますが、自分の価値観だけに捕らわれず、人々を取り巻く環境や文化、社会問題など多角的な視点で考え判断できる力が必要とされています。2030年までにすべての子どもが質の高い教育を受けられるようYMCAでも取り組みを続けていきます。

「世界一大きな授業」は、教育協力NGOネットワークに所属する団体によって実施されています。

実施団体：開発教育協会、シャンティ国際ボランティア会、日本YMCA同盟、プラン・インターナショナル・ジャパン、フリー・ザ・チルドレン・ジャパン、ラオスのこども、ワールド・ビジョン・ジャパン

ホームページ:

<http://www.jnne.org/gce/>



ちとせ幼稚園 「新園舎が完成しました」

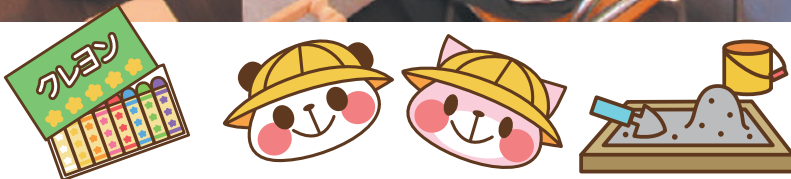
5月21日、神戸YMCAちとせ幼稚園・神戸YMCA須磨センターに2階建ての新園舎が完成しました。1階は主に2歳児クラスさくらんぼ組や未就園児プログラムで使っています。また、2階は多目的なホールになっており、須磨センターの学童保育や園児の保護者プログラムなどで使用する予定です。

さっそく2018年度のさくらんぼ組が新しいお部屋を使っています。広いお部屋に絵本やままごとやクレヨン画などいろんなコーナーがあり、ひとりひとりが好きな遊びを見つけて、お母さんがいない環境でも楽しみや安心を見つけて遊び始めています。



また、トイレも新しくなりました。子ども用の洋式トイレと子ども用の男子トイレがあり、仕切りも最小限で開放的です。さくらんぼ組が始まった頃はオムツを着用した子がほとんどでしたが、自分サイズの便器を見ると座ってみたいとなったのでしょうか。「行く!」「おトイレ行く!」と自ら先生を誘って進んでトイレに行きたがる姿があります。そして、「おうちでも進んで行きたがるんです」と保護者の方からの嬉しい声も聞かれます。お友だちの姿や新しい環境など刺激を受けて、どんどん意欲が湧いて自立に繋がっていているようです。

高倉台にあるこの施設も45年間という時代と共に利用する人数は増加し年齢層も広がってきました。未就園児、園児、学童、保護者、地域の皆様に親しまれ、地域に根ざしたYMCAとしての役割を果たしていきたいと思えます。

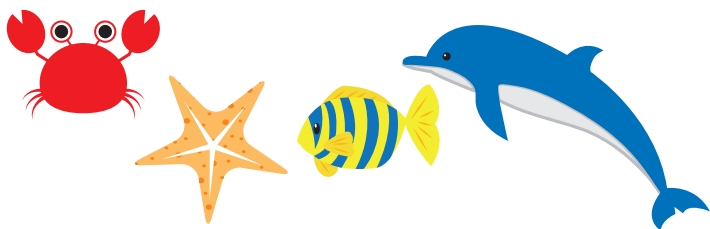


須磨センター学童保育

須磨センターの学童保育の子どもたちが過ごす部屋は神戸YMCAちとせ幼稚園と同じ敷地内にあります。普段、学童の子どもたちが学校から帰ってくる時間は幼稚園の園児たちの降園時間と丁度重なり、あまり関わることはありません。しかし、学童の子どもたちには同じ施設で過ごす園児たちのことも知ってほしいと思っています。

先日、小学校が代休の為、学童保育で1日保育を行いました。須磨センターの学童保育では、毎年、年度の初めの1日保育で普段は時間の都合でなかなか関わるできない園児との交流を行っています。交流の内容は「一緒に遊ぶ」ことです。リーダーから学童の子どもたちへ遊ぶ場所や内容の指示はしません。自分たちで遊びを選び、園児や幼稚園の先生と一緒に遊びます。

「今日は交流日なので、幼稚園の園児と遊びなさい」というのではなく、子どもたち自身が主体的に同じ場所、同じ時間の中で関わっていくことが、お互いを認識し、認め合えることにつながっていくのではないかと考えています。



保育園(認定こども園)

保護者とともに...



保育園では、新年度を迎えてから子どもが少しずつ新しい生活、新しいグループに慣れ、落ち着いてきたときに、順次グループごとに保護者会を行っています。保育園から生活の様子やこれからの準備についてお伝えするのは無論のこと、保護者からも子どもの家庭での様子や保護者自身の戸惑いや不安、また子どもの変化への喜びや期待など感じられていることをお聞きする貴重な機会となっています。

YMCAで子育て支援、子ども自らが育っていく上で大切にしていることの一つに「家庭と手を携えて」歩いていくことを掲げています。そのためにご家庭の方も子どもの成長を共感できるよう、保護者会でのお話やビデオでの保育園の様子をお見せしたり、またホームページブログでの保育園の様子を紹介したり、その日の園のトピックスを園内の掲示やタブレットで見るといった取り組みを行っています。そうした中で子どもの育ちを保護者とともに喜び合える関係が深まっていると感じています。時には保護者が主体的に活動を支えてくるようなことも増えてきています。

「保護者とともに...」をこの時代だからこそ改めて考えながら日々の保育を行っています。



灯台

Light House

No.18

総主事 井上 真二



「三宮会館チャペル入口右壁の絵」

三宮会館チャペル入口(ホワイエ)右壁に飾っている和装の女性がたたずんでいる絵は旧会館のチャペルの中に飾られていたもので、ご記憶にある方も多いと思います。この絵は名誉会員の井上耕作さんから神戸YMCAに寄贈されたもので、当時の山口徹総主事(第8代総主事)宛てのお手紙が添えられておりましたので、お二人のご許可を得て内容を一部紹介します。この絵は画家で元理事の石村正太郎さんの1986年頃の作品で、井上さんが自分の蔵書からキリスト教関係の書物を石村さんに2,3冊差し上げたことへの感謝のしるしとして1987年に贈られたものだそうです。暫くの間、会社の事務所にあり、その後、自宅で保管していたものをYMCAに寄贈してくださいました。「踏絵」は江戸時代、幕府が禁止していたキリスト教の信徒を発見するために用いられた絵であり、この女性は石村さんが想像をまじえて書かれたものであるとのことでした。検索してみると石村さんは様々な絵を描かれています。

会館にはこれまで寄贈していただき保管している絵がいくつかあります。昨年竣工した三宮会館での活動もお陰様で1年が経過したこともあり、他の絵と交換して展示していきたいと思っております。重量のある絵を展示できるのはこのホワイエ右壁だけなのでご了承ください。

※文化庁は5月4日、日本が世界文化遺産に推薦していた長崎県と熊本県の文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」について、登録の可否を事前審査する国連教育科学文化機関(ユネスコ)の諮問機関「イコモス」が「記載が適当」とユネスコに勧告したと発表しました。



チャリティーゴルフのご報告

5月23日(水)、千刈カンツリー倶楽部にて第38回チャリティーゴルフ大会が行われました。あいにくの雨模様でしたが、44名(初参加8名)もの方々にご参加いただき、ゴルフを楽しみました。この収益金は主に青少年指導者養成の支援金として、また一部を東日本大震災、熊本地震の復興支援として使われます。今大会も多くのご協力をいただいたことに感謝いたします。

次回は2018年10月24日(水) ジャパンメモリアルゴルフクラブにて行われます。

あなたの一打が若き指導者を育てます。ご参加お待ちしております。



宝塚YMCAチャリティーバザー



5月19日(土)、第31回「宝塚YMCAチャリティーバザー」が宝塚市逆瀬川にて開催されました。今掘り出し物の探し甲斐があるのみの市や、お子さんを対象にしたゲームコーナー、焼きそばや手作りクッキー等のおいしい食べ物コーナー、そしてお楽しみ抽選会など、今年度もたくさんの方々で賑わい、楽しんでいただきました。多くのワイズメンやユースボランティアリーダーにご協力いただき、もともとYMCAを知っている方々だけでなく、今までYMCAとのつながりがなかった地域の方々とも、笑顔のあふれる時間を共に過ごすことができました。このバザーの収益は国際協力募金や宝塚地域の福祉のために捧げさせていただきます。



地区体育館便り



現在須磨体育館では安心安全な館の運営はもちろん、須磨区、長田区の地域の方々から、様々な館外での指導依頼も頂いています。近隣小学校では市民救命士講習を行ったり、地域のスポーツクラブでは体育指導なども行っています。毎年須磨海岸で行われる海岸イベントでも、ニュースポーツの紹介として、ブース設置しています。また、長田区の保育所職員研修の一部を実施しており、保育



所の子も達や、先生方へ向けた運動遊び等の紹介や指導方法の紹介なども、シリーズ化して実施しています。

館の運営もしっかりと行いながら、館外での活動を通して、地域の活性化や運動を楽しみ、好きになって頂くきっかけづくりを行っています。

YMCAバザー

須磨センター&神戸YMCAちとせ幼稚園



6月9日(土)は、YMCA須磨センターと神戸YMCAちとせ幼稚園の共催で、「YMCAバザー」が開催されました。梅雨入りして天候が危ぶまれましたが、当日は最高の晴れの日が与えられ、大盛況のうちにバザーを無事に終了することができましたことを心より感謝致します。

幼稚園の保護者の皆様をはじめ、卒園児保護者、学童の子どもたちとリーダー、学童の父母会、社交ダンスクラブの皆様、リーダーOBの方々・・・大勢の方々のご奉仕と交わりの中ですすめられたバザーに、近隣の方々もたくさん参加してください、当日の来場者は、1,000人を越えました。このバザーの収益金は、国際協力募金をはじめ、園児や地域のプログラム開催等の為に捧げたいと思います。



神戸YMCAサマーキャンプのおすすめ

YMCAが日本(六甲山)で教育的組織キャンプを行ってから2020年で100年になります。

組織キャンプは小集団で行われ、参加者たちは普段の生活とは異なる環境でキャンプの仲間と生活をします。キャンプの最大の強みは“終わる”ことです。1日のデイキャンプも11泊12日のキャンプも最後の日がくれば“終わる”のです。だからこそ参加者は普段とは違う役割を担ったり、様々なことにチャレンジすることができるのです。そしてそこにはトレーニングを受けたボランティアのリーダーが寄り添っています。キャンプの体験を積み重ね、その体験を日常の生活に置き換えて活かすことができるのがキャンプの意義であると私たちは考えます。私たちが“目指すキャンプ”は“目指す社会”です。一人一人が尊重され、幸せに生きる社会を目指しキャンプを行います。この夏、共にキャンプに行きましょう!

好評受付中です。詳細はHPで!
<http://www.kobeymca.org/natsu/>

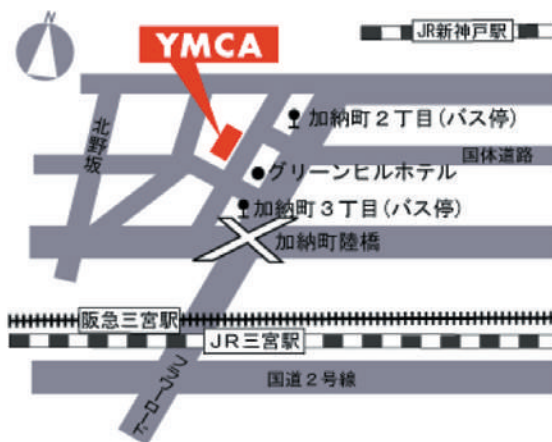


憲法を知る集い vol.7

憲法・法律・人権から考える 私たちの民主主義

今回は、お二人の弁護士から憲法・法律・人権を切り口にお話をいただき、「私たちの民主主義」ということを考えていきます。

日時:2018年7月21日(土)13時~15時(12時40分受付開始)
 会場:神戸YMCA三宮会館2階チャペル
 ゲスト:白承豪先生(神戸セッション外国法共同事業法律事務所)
 津久井進先生(芦屋西宮市民法律事務所)
 進行:中尾秀一さん(難民事業本部関西支部 支部長代行)
 ○参加費無料、事前申し込み不要でどなたでもご参加いただけます。
 主催:神戸YMCA国際委員会・ユース委員会・ミッション委員会



感謝・寄附

(前号掲載以降~5/31現在)

感謝をもってご報告します。(敬称略、順不同)

寄附・献金

古川希世 松本聡子 山根泉 藤田邦夫 松田弘行 大野勉 進藤啓介
 ワイズメンズクラブ六甲部、西宮ワイズメンズクラブ

個人消息

訃報

6/27 魚住 秀雄 様(公益財団法人評議員、学校教育事業委員)



- | | | | |
|-----------------------------|-----------------|----------------|-----------------|
| ファミリーウェルネスセンター | ☎078 (241) 7202 | YMCAおひさま | ☎078 (793) 9077 |
| YMCAホームヘルパーの事務所 | ☎078 (241) 7237 | 西神南YMCA | ☎078 (993) 1560 |
| ランゲージセンター | ☎078 (241) 7204 | 須磨YMCA | ☎078 (734) 0183 |
| 専門学校 | ☎078 (241) 7203 | YMCA保育園 | ☎078 (794) 3901 |
| 西宮YMCA | ☎0798 (35) 5987 | 西宮YMCA保育園 | ☎0798 (35) 5992 |
| 余島野外活動センター | ☎0879 (62) 2241 | 西神戸YMCA保育園 | ☎078 (792) 1011 |
| デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局) | ☎078 (241) 7216 | 神戸学園都市YMCAこども園 | ☎078 (791) 2955 |
| 国際・奉仕センター | ☎078 (241) 7204 | 神戸YMCAちとせ幼稚園 | ☎078 (732) 3542 |
| ウェルネスセンター学園都市 | ☎078 (793) 7401 | YMCAちとせ保育ルーム | ☎078 (786) 3821 |
| 西神戸YMCA | ☎078 (793) 7402 | 西神戸YMCA幼稚園 | ☎078 (997) 7705 |
| 神戸YMCA高等学院 | ☎078 (793) 7435 | 西宮つとがわYMCA保育園 | ☎0798 (26) 1016 |
| | | あかしこども広場 | ☎078 (918) 6355 |

2018年5月1日発行
 1947年10月27日
 第3種郵便物認可
 発行所/日本YMCA同盟
 東京都新宿区本塩町 2-11
 THE YMCA神戸版
 神戸YMCA
 〒650-0001
 神戸市中央区加納町 2-7-11
 Tel 078-241-7201
 Fax 078-241-7479
www.kobeymca.org
 発行人/井上 真二
 編集人/西田 勉
 印刷/わかばやし印刷

